

砺波市議会 6月定例会での市政一般質問

(注) 一般質問は10項目で、うち7項目を掲載。質問・答弁は全文ではなく、要旨のみ掲載しています。

●地域防災力を高めることについて

①新たな拠点給水ポイントの整備について問う

本市における現在の拠点給水ポイントは、上中野配水場に1か所設置しており、消防用の施設は、砺波消防署にタンク付き消防車への給水などに使用する消火栓が設置してある。

いずれの給水ポイントもスペースが狭く、緊急時に多くの給水車が待機することができない状況であり、円滑な給水活動が行えるよう、多くの給水車が待機可能な上中野配水池に新たに設置する。

②プールの水を、地域の防災対策に役立てることについて問う

学校プールの水は、火災発生時の消防水利としての利用のほか、地震等の災害発生時には非常用の生活用水としての利用を想定している。

しかし、プール使用期間中は、塩素等の薬剤が含まれているほか、その期間外についても、雨水等が流入しているなど、水質的に問題があることから、トイレ用水など、用途を限定して使用せざるを得ないものと考えている。

よって、実際にプールの水を使用する必要性が生じた場合、水質の状況を踏まえ、十分留意しながら利用していく。

●住民のくらしを支えることについて

①防犯灯の支援制度の周知と防犯灯LED化の推進について問う

市内で、昨年度1年間で落雷により防犯灯が損傷した件数は17灯と認識している。

LED防犯灯は、器具の電源が3年、電球は5年の保証期間があり、落雷をはじめ、火災、地震、水害その他の天災地変の場合は保証対象外となり、地元負担により修繕を行っていた。

本市では、新規の防犯灯のLED化に対する補助に加え、本年度からは過去3年以内に設置したLED防犯灯に対し、今年4月以降に天災が原因で損傷した場合、修繕経費の3分の1(1灯当たり上限7千円)を補助することとなっている。

引き続き、各地区自治振興会等を通じ、制度の拡充について周知したい。

②防犯カメラ設置に関する補助制度の新設について問う

富山県警察の「安全安心見守りカメラ事業」は、設置箇所について「通学路」、「声かけ、つきまとい等の事案発生箇所」、「過去の犯罪発生箇所」等の例示はされているが、その明確な基準がなく、どの

箇所に優先的に設置すべきかなどの規定も設けられていないことから、市において補助制度を創設する場合には、これらの基準を明確にする必要がある。

今後、補助制度を創設する際、これらのことも踏まえ、地域の安全安心のための制度設計に努めたい。

●砺波市の魅力アップについて

①「こもれびガーデン&カフェ」の機能を整備できないか問う

公園内におけるカフェ機能は、再整備事業において、イベント時に飲食ブースとして利用できる管理用倉庫や、キッチンカーのための電源設備を整備する。

この施設や設備が、平日のお昼なども活用され、日常的に飲食が提供できるようになれば、更なる公園の賑わい創出に繋がると考えており、民間事業者による活用を期待している。

なお、今年のとなみチューリップフェア時に「こもれびガーデン」として設置したウッドデッキは、チューリップフェア終了後も撤去せずに、引き続き暑さをしのぐ癒やしの空間として利用いただいている。

②「AR」フォトフレームを観光イベントや観光地の魅力アップのために活かすことを問う

このサービスは、「砺波市花と緑と文化の財団」がシステム提供事業者との契約に基づき運用しており、財団が行う事業に限り使用できるもので、年間で約50万円の費用負担をしている。

財団ではフェアだけでなく四季彩館の展示において、例えば「クリスマスバージョン」のフレームなどを作成し、年間を通じたサービスを提供しており、十分にその費用対効果は出ている。

フォトフレームは本市のシティープロモーションにもつながり、財団と市が共用するなどの柔軟な対応ができないか、工夫した契約や活用方法などについて、事業者と協議したい。

●教育環境の整備について

①学校全体が「校内教育支援センター」と位置付けについて問う

県内でも、不登校の児童生徒は増加傾向にあり、本市でも、同様の傾向が見られる。

そこで、今年度から、児童生徒の心理的安全性を確保し、誰一人取り残さない「居場所」を設けるため、全職員が情報を共有して、「学校全体を教育支援センター」とし、保健室や相談室に限らず、校長室や職員室、事務室等の教職員の誰とでも気軽に相談できる学校環境づくりに取り組む。

後援会だより

第13号 R6.7.1

向井みきお

感謝の気持ちを持って「となみ」のために尽くします



HP
URL: <https://www.mukai-mikio.jp/>



議員任期も最終年「後援会だより」も第13号の発行になりました。これからも市民目線で丁寧にかつ柔軟に精進してまいります。

油田は登録者数が一番多い

油田
マメ情報

旧JA油田支店跡用地(JR油田駅前)は、駅利用者の送迎時には一時的な待機場所として活用できます。



R4.10.1~R6.3.31 チョイソコとなみ利用状況						利用者一人当たりの予約件数割合		
利用回数 順位	地区	登録者数	利用者数	利用割合	利用回数			
1	梅檀野	96	39	41%	1,442	31回以上	62	16.7%
2	般若	107	32	30%	1,238	21~30回	40	10.8%
3	東般若	80	33	41%	944	11~20回	54	14.5%
4	南般若	99	31	31%	509	8~10回	34	9.1%
5	柳瀬	52	22	42%	333	5~7回	36	9.7%
6	油田	128	26	20%	314	3~4回	57	15.3%
7	青島	52	13	25%	293	2回	57	15.3%
8	太田	81	14	17%	284	1回	32	8.6%
9	中野	49	13	27%	256			
10	雄神	90	14	16%	253			

◇登録者数 1,385人
70歳以上の登録者が全体の84.3%
◇70歳以上の利用が全体の約90%

◇停留所数 265か所(ウチマチサポーター147件)

5/15 富山県後期高齢者医療広域連合規約の変更について(賛成討論)

発言文書

議案第35号富山県後期高齢者医療広域連合規約の変更について、賛成討論を行います。

マイナンバーカードと保険証を一体化させ、従来の保険証の発行を廃止することは法改正され、今年の12月2日に実施することが決まっております。

マイナ保険証を利用することで、より良い医療を受けることができるメリットが示されており、今後も全ての市民が安心して保険診療をうけてもらわなければなりません。

この規約の変更は、後期高齢者医療制度の加入している方々が、12月2日の法律施行後、マイナンバーカードを持っていなくても、引き続き保険診療を受けることができるよう、国から示された通り、資格確認書等を交付することとするため、その取扱いに関する部分を変更するものであり、必要であると考えます。

このことから、議案第35号富山県後期高齢者医療広域連合規約の変更について、賛成いたします。

6/19 産業建設常任委員会

質 問	回 答
平野部(狐島地内)でのクマ出没を受けて、今後の連絡体制について	目撃時及び現地確認後、①市緊急メールで連絡。 ②当該地区及び隣接地区へは自治振興会長登録メールへ連絡、一定時間経過ごとに連絡。 ③連絡を受けた方は、住民への周知が必要と判断された場合に、地震時等の連絡体制等を利用し、各自治会へ連絡。
砺波市プレミアム付き商品券発行事業	前回の第5弾からの変更点は ①前回未引換分が発生したことを踏まえ、地域経済活性化に予算を最大限活用いただきたいので、2次販売を行う。 ②例年消費が落ち込む11月に消費を促し、地域経済活性化につなげて欲しいので、有効期限を11月末とした。

皆さまのご意見・ご要望をお気軽にお聞かせください。

後援会事務所 ☎0763-23-5166 ✉muka185@amber.plala.or.jp

主な活動報告

3/17 宮丸地区江浚い見分

宮丸地区

7:30～



宮丸地域環境保全会による江浚い見分が行われ、川の水漏れ箇所や水門などの不具合箇所を見て回った。

3/18 令和6年2月砺波市議会定例会(賛成討論)

砺波市議場

14:00～



議案第3号令和6年度砺波市国民健康保険事業特別会計予算「マイナンバーカード保険証の一体化事業にかかる予算」について、賛成討論を行った。

3/19 チョイソコイベント

庄東センター

11:30～



「チョイソコとなみ」を使って高齢者に外出を促し利用の促進と健康増進を図るために、足指のつかむ力「足指把持力」の測定やチョイソコ体操と組み合わせたイベントに参加。

3/24 江浚え

油田地区一円

8:00～



江浚えに参加。地域の共同作業で農業用水路にたまった泥を撤去しました。皆様お疲れさまでした。

3/31 自由民主党油田支部定期総会

油田自治振興会館

18:00～



①自らの定例会質問に対する実施状況 ②耐震診断・改修 ③砺波市立学校規模適正化検討委員会 ④R6年度油田地区のインフラ整備などについて報告を行った。

4/5 春の全国交通安全運動市民集会

砺波市役所前

7:00～



4月6日から15日までの間、春の全国交通安全運動が実施されるにあたり、「春の全国交通安全運動市民集会」に参加しました。

4/6 2024となみチューリップフェア清掃ボランティア

砺波チューリップ公園

7:00～



フェア会場となるチューリップ公園等の清掃ボランティアに参加。団体・企業・個人を含めて、22団体、約500名余りの市民の皆さんが参加しました。

4/13 令和6年砺波市消防春季訓練及び表彰伝達式

柳瀬地区

8:30～



砺波市消防団の連携強化と市民の防火意識の高揚を目的に開催。消火実務訓練、消火器取扱い及び煙中体験、避難所開設運営訓練、やなせ苑避難訓練を実施しました。

4/25 2024となみチューリップフェア水車苑ボランティアガイド

砺波チューリップ公園

9:00～ 13:00～

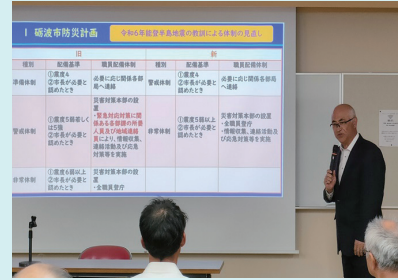


砺波市教職員旧友会として、平成5年から実施しているボランティアガイド。らせん水車の案内パネルをリニューアル、QRコードでらせん水車の解説と農作業の様子が動画視聴できます。

5/11 令和5年度油田地区自主防災会総会・防犯組合総会

油田自治振興会館

18:00～



①令和6年能登半島地震の教訓により、砺波市防災計画の体制が見直された。②地区別防犯灯LED化率(LED/防犯灯数)の現状、防犯カメラの補助制度の要望などを紹介。

5/15 令和6年第2回砺波市議会臨時会(賛成討論)

砺波市議場

14:00～



「議案第35号 富山県後期高齢者医療広域連合規約」の変更について賛成討論を行った。

5/25 JR油田駅クリーンアップ作戦

JR城端線油田駅

7:00～



JROB会が実施する緑化活動に合わせて、城端線もりあげ隊や自治振興会の皆さん方とベコニアやインパチェンスなどの花壇の植え替えや清掃活動を行った。

6/1 ウェルビーイング実現講座①

砺波地区センター

13:30～



「空飛ぶクルマへの世界」と題して、HIYOSHI DESIGN代表取締役社長 石村忠美氏から講話を伺った。

6/12 砺波東部小学校防犯感謝集会

砺波東部小学校

14:00～



東部っ子からは、日頃の見守り活動に対してのお礼の言葉や歌を披露。安全を見守っていただいていることに感謝申し上げます。

6/17 6月砺波市議会定例会一般質問

砺波市議場

10:00～

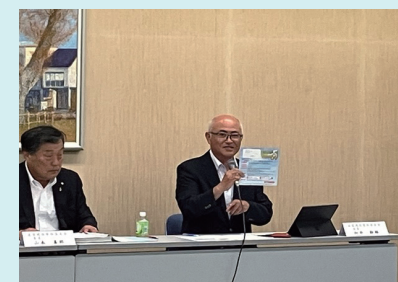


①地域防災力を高めるために ②住民のくらしを支えるために ③砺波市の魅力アップをはかるために ④教育環境の整備について質問しました。

6/19 産業建設常任委員会

砺波市役所

10:00～



①平野部(狐島地内)でのクマ出没を受けて、今後の連絡体制について ②砺波市プレミアム付き商品券発行事業について質問しました。